

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Yamamoto H., Sawaguchi Y., Kimura M., The Determination of Protease Specificity in Mouse Tissue Extracts by MALDI-TOF Mass Spectrometry: Manipulating PH to Cause Specificity Changes., *J Vis Exp.* 135, doi: 10.3791/57469. (2018)
- 2) Yamamoto H., Saito S., Sawaguchi Y., Kimura M., Identification of Protease Specificity Using Biotin-Labeled Substrates., *Open Biochem J.* 11, 27-35 (2017)
- 3) Kimura M., Eto T., Izumo N., Mizushima Y., Sustained Neutrophilic Effects of a Novel G-CSF Preparation: Protein-Zinc Carbonate/Complexes., *The Annual Report of Nihon Pharmaceutical University* 2, 53-63 (2016)

[著書]

- 1) 中林利克、吉田雄三編（分担） 薬学生のための基礎生物学, p34-p46 廣川書店（2019）

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 木村 道夫, 安藤 彩, 高橋 冴和子, 野口 遥, 福島 圭, 喜名 あかね, 山本 博之, 下川 修, *C.albicans* 呼吸変異株 KA1 の飢餓状態におけるタンパク質の発現と代謝, 日本薬学会第 139 回年会, 3 月, 千葉 (2019)
- 2) 中村 桂馬, 三浦 紗旺里, 佐藤 麻衣, 中村 実香, 山本 博之, 高野 文英, 木村 道夫, 真菌におけるベルベリン類の細胞膜透過性及び細胞内局在性と増殖抑制, 日本薬学会第 139 回年会, 3 月, 千葉 (2019)
- 3) 木村 道夫, 佐藤 麻衣, 田中 穂南, 山本 博之, 下川 修, ステロール減少による細胞膜の物質透過性の変化, 第 91 回日本生化学会大会, 9 月, 京都(2018)
- 4) 山本 博之, 柳沢 亮太, 鹿村 知令, 板橋 美奈, 木村 道夫, 光線曝露は線維芽細胞のトリプシン-2 発現を亢進する, 第 91 回日本生化学会大会, 9 月, 京都(2018)
- 5) 木村道夫, 佐藤麻衣, 中村実香, 高野文英, 下川修, *Candida albicans* に対するアゾール系抗真菌薬存在下でのキハダ抽出物の抗真菌作用, 日本薬学会第 138 回年会, 3 月, 金沢 (2018)
- 6) 山本博之, 柳沢亮太, 宮口 祐美佳, 木村 道夫, 井口 和明, 紫外線曝露における角化細胞のセクレチン前駆体の発現誘導, 日本薬学会第 138 回年会, 3 月, 金沢 (2018)
- 7) 柳沢 亮太, 山口 陽子, 鹿村 知令, 板橋 美奈, 木村 道夫, 山本 博之, 光線曝露における線維芽細胞のトリプシン-2 発現誘導, 日本薬学会第 138 回年会, 3 月, 金沢 (2018)
- 8) 木村道夫, 野口遥, 安藤彩, 高橋冴和子, 福島圭, 喜名あかね, 山本博之, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸変異株 KA1 にみられる代謝変化とタンパク質発現変化, 第 90 回日本生化学会大会, 12 月, 神戸(2017)

- 9) 山本 博之, 柳沢 亮太, 鹿村 知令, 板橋 美奈, 木村 道夫, 光線曝露による線維芽細胞のトリプシン様プロテアーゼ活性の発現亢進, 第 90 回日本生化学会大会, 12 月, 神戸(2017)
- 10) 野口 遥, 木村 道夫, 喜名 あかね, 山本 博之, 下川 修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離された呼吸変異株 KA1 に見られる代謝変化, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017)
- 11) 田中 穂南, 木村 道夫, 山本 博之, 下川 修, カンジダ属真菌に対するアゾール系抗真菌薬とテトラサイクリン系抗菌薬の併用療法, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017)
- 12) 木村 道夫, 石川 綾乃, 長澤 綱城, 山本 博之, 下川 修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸変異株 KA1 において発現変化のみられるタンパク質の同定, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017 年)
- 13) 山口 陽子, 木村 道夫, 山本 博之, メラニン産生細胞におけるビンキュリンの膜移行と紫外線曝露の影響第, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017)
- 14) 山本 博之, 田中 里佳, 木村 道夫, 線維芽細胞のゼラチナーゼ分泌に対する光線曝露の影響, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017)
- 15) 若松 尚之, 井口 和明, 木村 道夫, 山本 博之, 紫外線曝露による角化細胞のセクレチン mRNA 発現亢進., 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017)
- 16) 山本博之, 豊田悠希, 若松尚之, 山口陽子, 木村道夫, 組織中トリプシン様切断活性を有するプロテアーゼの網羅的な検出, 第 89 回生化学会大会, 9 月, 仙台(2016)
- 17) 木村道夫, 長澤綱城, 石川綾乃, 喜名あかね, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した変異株 KA1 のミトコンドリア分画に見られるタンパク質発現変化, 第 89 回生化学会大会, 9 月, 仙台(2016)
- 18) 齋藤晶太, 山本博之, 木村道夫, MALDI-TOF 質量分析を用いたプロテアーゼの基質特異性の決定法, 第 136 回日本薬学会年会, 3 月, 横浜(2016)
- 19) 高橋浩平, 木村道夫, 山本博之, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸欠損変異株 KA1 の形態学的研究, 第 136 回日本薬学会年会, 3 月, 横浜(2016)
- 20) 長澤綱城, 佃茂, 喜名あかね, 木村道夫, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸変異株 KA1 におけるタンパク質発現変化 (2) ~ミトコンドリア分画のタンパク質, 第 136 回日本薬学会年会, 3 月, 横浜(2016)
- 21) 長澤綱城, 喜名あかね, 木村道夫, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸変異株 KA1 におけるタンパク質発現変化 (1) ~細胞質基質のタンパク質, 佃茂, 第 136 回日本薬学会年会, 3 月, 横浜(2016)
- 22) 木村 道夫, 畠山 祐丞, 高橋 浩平, 下川 修, 深在性真菌症に対する新規併用化学療法へ向けた基礎的研究, 第 136 回日本薬学会年会, 3 月, 横浜(2016)
- 23) 山本博之, 齋藤晶太, 木村道夫, 質量分析法を用いたプロテアーゼの基質特性決定法, 新アミノ酸分析研究会第 5 回学術講演会, 東京(2015)
- 24) 木村道夫, 喜名あかね, 鈴木 孝明, 下川 修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸欠損変異株 KA1 の性質 (2) ~細胞学的考察, 第 135 回日本薬学会年会, 3 月, 神戸(2015)
- 25) 喜名あかね, 岡田胡美, 木村 道夫, 下川修, 病原真菌 *Candida albicans* から分離した呼吸欠損変

異株 KA1 の性質 (1) ～薬剤感受性, 第 135 回日本薬学会年会, 3 月, 神戸(2015)

- 26) 川野健吾, 木村道夫, 根岸和雄, 紫外線によるオリゴヌクレオチド中シトシンの光水和反応の解析について, 日本環境変異原学会第 43 回大会, 12 月, 東京(2014)
- 27) 野澤直美, 木村道夫, 安田高明, 渡辺博, 都築稔, 初年次教育における多面的教育活動を通じた医療人育成の検証, 初年次教育学会第 7 回大会, 9 月, 奈良(2014)
- 28) 木村道夫, 畠山祐丞, 鈴木孝明, 武藤美咲, 下川修, *Candida glabrata* 呼吸欠損株 (NY005) の性質: シトクローム及びタンパク質発現の変化, 第 87 回生化学会大会, 10 月, 京都(2014)
- 29) 金正仁, 新本聖次, 石橋雪子, 松嶋ゆかり, 廣瀬瑞穂, 寺田一樹, 木村道夫, 千葉康司, 飯塚徹, 出雲信夫, 卵巣摘出マウスの骨密度減少に対する八味地黄丸の効果, 第 134 回日本薬学会年会, 3 月, (熊本(2014)

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2018 年度 基礎薬学生物 (1 年)、基礎薬学特論 (1 年)、薬学特論 I (1 年 3 コマ)、基礎生物学演習 (1 年)、基礎科学実習 (1 年)

2017 年度 基礎薬学生物 (1 年)、基礎薬学特論 (1 年)、薬学特論 I (1 年 5 コマ)、基礎生物学演習 (1 年)、基礎科学実習 (1 年)

2016 年度 基礎薬学生物 (1 年)、基礎薬学特論 (1 年)、薬学特論 I (1 年 10 コマ)、基礎科学実習 (1 年)

2015 年度 基礎薬学生物 (1 年)、基礎薬学特論 (1 年)、薬学特論 I (1 年 10 コマ)、薬学演習 IIA (2 年 4 コマ)、薬学演習 IIB(2 年 4 コマ)、基礎科学実習 (1 年)

2014 年度 生物学入門 I (1 年)、生物学入門 II (1 年)、薬学演習 IA (生物) (1 年)、薬学生物 IB (生物) (1 年)、基礎科学実習 (1 年)